

1. 対象部材  
軒天井材

略称：CjK 軒天井材

2. 標準（共通）化の部位

軒天井材の交換修理に必要な標準（共通）化の部位を図1に示す。

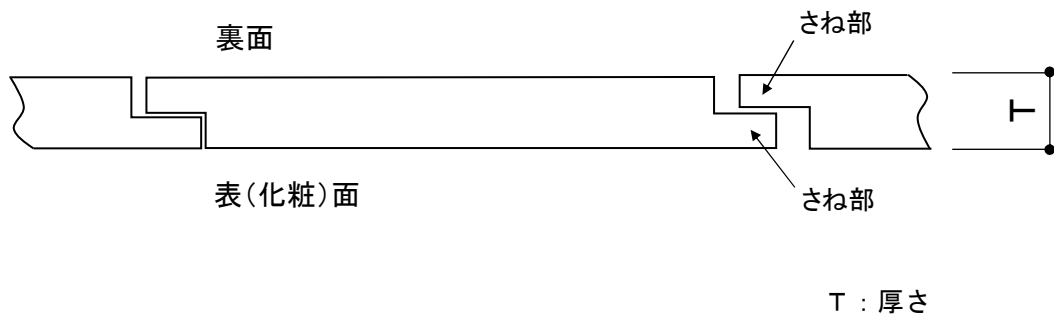


図1－標準（共通）化の部位

3. 寸法・形状

図1の標準寸法を表1に示す。

表1－標準（共通）化の寸法

単位：mm

項目	寸法			
	①	②	③	④
T : 厚さ	12	14	15	16

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。  
または、“CjK”マークを表示する。

## 5. 特記事項

### 5.1 関連部材の具備すべき条件

施工後、軒天井材が部分的に交換（張り替え）できること。

### 5.2 運用上の注意点

- ・準耐火構造または省令準耐火構造に該当する交換については、準耐火構造認定（JTC）等の基準に適合させることとする。
- ・その他の構造における交換については、周辺部材との相互の互換性を考慮し、部材の選定（厚さ）及び配置を行うこととする。

## 6. 解説

### 対象の範囲について

- ・色、柄については、標準化の対象外とする。
- ・施工方法（固定方法）については、標準化の対象外とする。
- ・軒天井材のうち、採用頻度の高いものを標準化対象とする。
- ・さね部は、必要に応じて現場合わせ（カット等）をする。
- ・厚さ寸法の表記に関してはJIS A5422の記載に基づいて規定する。

## 7. 共通事項

### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。